

議会改革検討特別委員会への意見のお礼

5月1日発行の議会だより51号にて議会改革検討特別委員会への意見募集につきまして、12名の方から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
皆様からのご意見は、今後、検討事項の参考とさせていただきます。
今後とも、あきる野市議会に対してのご意見・ご感想をお待ちしております。



あきる野ウォッチングシリーズが まもなく終了します

平成21年8月1日発行予定のあきる野市議会だより第56号にて、全ての地区（大字）の紹介が終り、「あきる野ウォッチング」の連載が終了となります。

10年間の連載期間中、多くの方から、ご好評をいただきありがとうございました。
議会報編集特別委員会では、「あきる野ウォッチング」連載終了以降の掲載内容を検討するとともに、読者の方から「あきる野ウォッチング」に替わる連載シリーズのアイデアを募集いたします。

下記の宛先へハガキまたはファックスにてお送りください。

おくやみ

あきる野市議会副議長 石井 仁^{いし い まさし}様におかれましては、平成20年7月3日（木）午前0時54分に逝去されました。享年66歳。

平成13年に初当選され、2期目。

なお、現職の副議長であり、議会報編集特別委員としても、議会だよりの編集にご尽力いただいております。

ご冥福をお祈りいたします。

問い合わせ

〒197-0814 あきる野市二宮 350
あきる野市議会事務局宛て
ファックス 042-558-1112

議会だより51号の訂正について
P5 一般会計予算に対する討論で、「清風会」賛成討論5行目『市長の芸術』とありますが、『市民の芸術』の誤りでした。
訂正してお詫びいたします。

あきる野 ウォッチング！ あんなとこ、こんなとこ

参考文献
秋川市史・無漏西遊

下代継（しもよつぎ）

明治5年（1872年）に上代継、下代継とも神奈川県、同11年（1878年）西多摩郡に所属し、同22年（1889年）西秋留村成立と同時に大字となり、現在に至っています。新編武蔵風土記稿によると下代継と上代継となったのが、享保3年（1718年）とあります。それまでは「代継」という1つの村でした。代継、四つ木という地名は、堅木の榎を産する場所をさしていたものとみられています。なお、榎とは火種用として使われていた木のことをいいます。榎には、榎のような堅い木を選んで使われていたといった記述が秋川市史にあります。

Shimoyotsugi



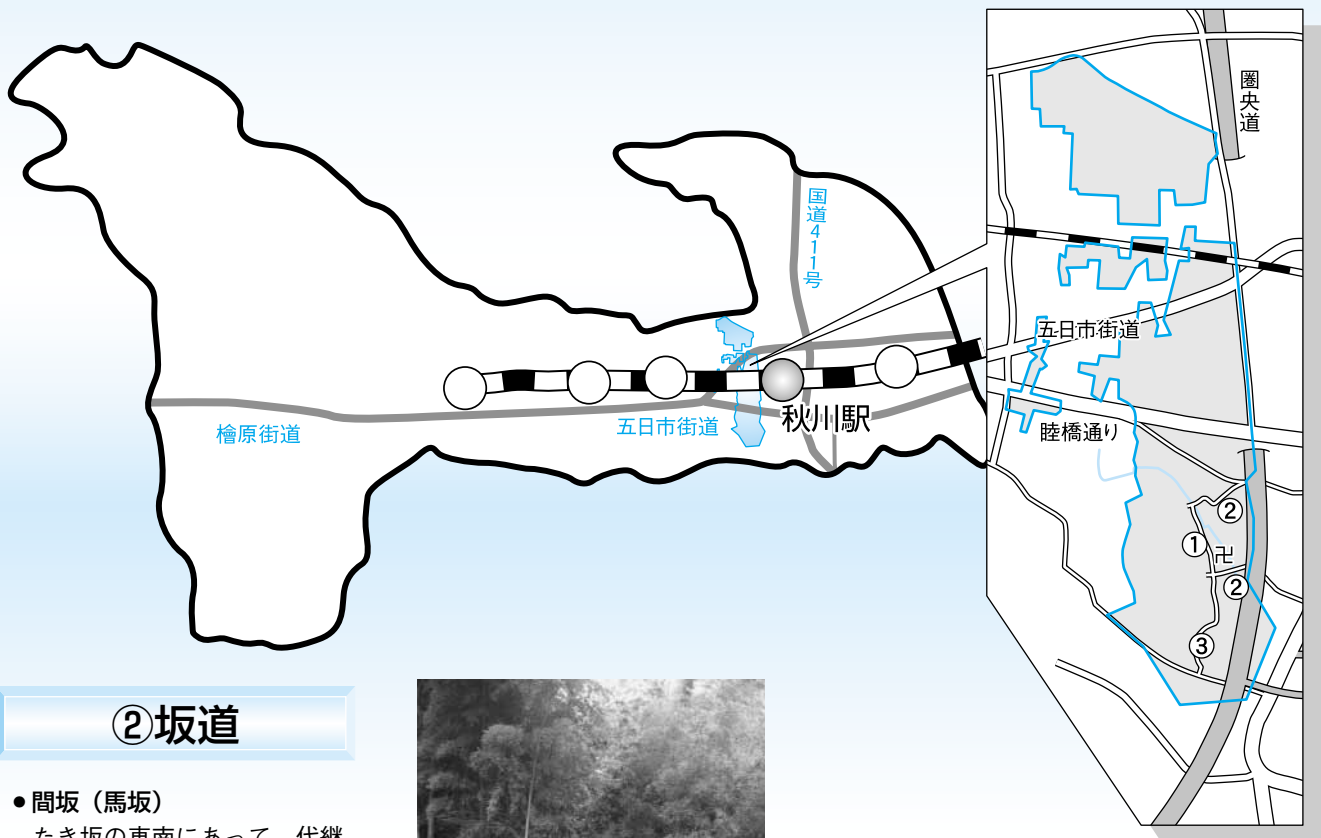
金松寺

①金松寺（下代継340番地）

臨済宗建長寺派の寺で、本尊は聖観世音菩薩です。康安元年（1361年）に足利基氏が草創し、開山は俊輪宗心禅師です。六世好竹林和尚の代に北条氏政が再建したとされています。

●見どころ

境内では、春にソメイヨシノ、しだれ桜を咲かせ、秋には裏庭の萩が風にゆれています。夏は秋川の涼風が本堂をわたり、冬には陽光が縁側にそそぎます。そして参道のあざやかな松の緑が一年中、見られます。



②坂道

●間坂（馬坂）

たき坂の東南にあって、代継から油平の境に出る坂をいいます。代継と油平の間の坂であり、「間坂」といった説がありますが、「馬坂」の方は宛字とも思われます。また、たき坂とくまの坂の間の坂なので「間坂」といわれたとも伝えられています。

●くまの坂

間坂の南側で、金松寺の墓地の東に、牛沼へ出る急な坂道があります。これを「くまの坂」といいます。または「くま坂」ともいいます。



くまの坂



間坂

ひがしまえ ③東前（下代継431番地～694番地）

金松寺前の広い田んぼのことをいいます。東千代里の前なので、東前と呼ばれています。また、上代継の方は下代継の前なので下前と呼んでいます。



昭和18年頃



現在

夏の風物詩～線香花火～

せんこうはなび



日本の夏を象徴するもののひとつ、線香花火。迫力満点の打ち上げ花火とは違い、ほのかで儂い火花が何とも言えない情緒を感じさせてくれます。

線香花火には大きく分けて『長手牡丹』と呼ばれる火薬を和紙に入れ、こよりのように燃やしたものと『スポ手牡丹』と呼ばれるイ草に火薬を塗ったものの2種類があります。長手が下に垂らして楽しむのに対して、スポ手は立てて楽しむという違いがあります。

関西では、線香花火と言えばスポ手を思い浮かべる人が多く、スポというのはワラのことで、昔は葦やワラの細い管の中に火薬を入れた花火を火鉢に立て、それにキセルで火をつけて遊んでいたと言われていました。その格好がちょうど、仏壇の前に供える線香に似ていたことから線香花火と呼ばれるようになったそうです。

線香花火には、点火から燃え尽きるまでの間に「起承転結」があり、様々な表情を見せてくれます。

起『牡丹』点火直後の赤い玉の状態

承『松葉』ぱっぱと威勢良く火花が飛び散る最盛期の状態

転『柳』松葉の後、火花が長く散る様

結『散り菊』線香花火の最後、ちよろちよると火花が散る状態

人生を表すかのような儂さを感じさせてくれる線香花火。皆さんは、線香花火の火花を見て、何を思い浮かべますか。

クイズ

答えの中から正しいものを選び、ハガキに書いてお送りください。

問1 次回開催の平成20年第3回(9月)定例会での一般質問は、いつから始まる予定でしょうか。

- ① 9月1日
- ② 9月2日
- ③ 9月3日

問2 今回の議会だより「あきる野ウオッチング・下代継」で取り上げましたお寺の名前は、何だったでしょうか。

- ① 金松寺
- ② 銀松寺
- ③ 銅松寺

【応募方法】

◇ハガキに、答え、住所、氏名、年齢と議会だよりに対するご意見・ご感想などを書き添えてください。正解者の中から抽選で10名の方に記念品をプレゼントします。

◇あて先 〒197-0814 あきる野市二宮350番地
あきる野市議会事務局

◇締切り 8月15日(当日消印有効)

前号の正解は、問1「①6月3日」・問2「①伊奈石」でした。

応募総数は32名で、正解者の中から抽選で10名の方に記念品をお贈りしました。

なお、当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。ご応募ありがとうございました。

編集後記

◆6月の議会中に、岩手・宮城内陸地震が起き、多くの被害がありました。被災地の方々には心からお見舞い申し上げます。

◆特に大きな被害を受けた宮城県栗原市と、あきる野市は、友好姉妹都市として災害援助協定を結んでいます。

◆市としても早急に職員を派遣し、救援活動に協力してきました。被災地の一日も早い復旧を願っております。

◆今年は台風が多いと聞いています。栗原市では、現在も復旧に向けて作業が進められています。台風が一つでも少なければと祈っています。

◆市議会では傍聴に来て頂ける市民の皆様を、お待ちしております。

編集委員 浦野 真司